

No. 47

平成 27 年 11 月 1 日



フェニックス

座間第3団

発行者:ボーイスカウト座間第3団

団委員長 鈴木 正夫 座間市西栗原 1-11-12 Tel:046-251-2370

初秋の候、皆様にはますますご健勝の事とお喜び申し上げます。

さて、今回のフェニックスは、第23回世界ジャンボリーに参加したスカウトの感想を特集しました。座間3団は、日本派遣団 第208隊（神奈川8隊）として指導者を含め総勢9名が参加しました。世界ジャンボリーを通じて世界に触れたスカウト達が、日本という国や自分という存在をあらためて見つめ直し、考え、これからの人生に役立つ貴重な体験ができたのではないのでしょうか。

育成会長 輿水 文比古

第23回世界スカウトジャンボリー概要

会 期： 2015年7月28日(火)～8月9日(日)

会 場： 山口市阿知須・きらら浜他

参加者： 世界155の国と地域から33,628人が参加

参加対象者：世界各国の14歳から17歳のスカウトと 引率指導者

18歳以上のスタッフとして参加する指導者



Baden Powell

世界スカウトジャンボリーに参加して

日本派遣団第0208隊 隊長 茂木 寛

2015年の夏は熱かった！

世界から3万人ものスカウトが集まり、熱い2週間があつという間に過ぎりました。1年前より準備を重ね、県央地区からスカウト39名、指導者5名が参加隊（208隊、205隊）と大会奉仕者（1名）として参加し、全員無事に帰宅いたしました。座間3団からは、スカウト6名（VS5、BS1）と指導者3名が208隊で参加しました。全員健康に無事に帰宅したことをご報告し、団や育成会・保護者皆様から多大なご支援ご協力をいただきましたことに深く御礼申し上げます。

キャンプサイトの周りは全て外国隊！（ドイツ、ネパール、イギリス、フィンランド、スウェーデン、ルクセンブルク、スイス、デンマーク、インドネシア）毎日が国際交流の連続でした！（英語は必須！みんな英語はちゃんと勉強しようね！）

でも、そこはスカウト同志！すぐに仲良くなれます。お互い片言の英語と、ボディランゲージで会話できました。みんなで、Enjoy Jamboree！できました！

おもな活動

- 7/28 新横浜駅集合、新幹線で広島着、広島からバスで山口へ。到着後テント設営
- 7/29 午前中テントサイトの設営、ブルーインパルス展示飛行、開会式
- 7/30 場外プログラム：全員で秋芳洞、秋吉台の見学。ユニクロのポロシャツ着用
- 7/31 午前大風掲揚に挑戦、午後カルチャー、夕方デンマーク隊と交流会
- 8/1 国旗掲揚全員で参列、サイエンスプログラム、スイスの独立記念日パレード
- 8/2 信仰の集い、フードフェスティバル（各国の食事体験）、アリーナショー
- 8/3 地球開発村プログラム、4カ国交流会
- 8/4 ウォータープログラム、誕生日スカウト誕生会
- 8/5 広島ピースプログラム（広島訪問）資料館見学、詩朗読会
- 8/6 場外コミュニティ：4カ国混成で山口県内の小中学校を訪問
- 8/7 ワイドゲーム、閉会式
- 8/8 外国隊撤収、退場（お手伝い）
- 8/9 撤営、（バス・新幹線で移動）新横浜駅解散



世界ジャンボリーを終えて（座間3団スカウト感想文集）

208隊 柘班 佐藤 杏優

ジャンボリーを思い出して思うことはたくさんありますが、どれもすべて「楽しかった」思い出です。

毎日が暑くて、熱くて、最高な一週間でした。朝目が覚めると一緒にキャンプしている仲間がいて、周りのサイトには言葉や文化が違うけれど同じボーイスカウトという世界の仲間がいて今まで見たことがない景色が広がり、毎日が新しく新鮮なものでした。

私は、日本ジャンボリーにも参加したことがあり、世界ジャンボリーも同じようなものを想像して山口県に行ったのですが、いざついてみてジャンボリーが始まったら日本ジャンボリーとは明らかに違う風景、空気、規模を感じてこれが世界ジャンボリーか、と驚かされました。最初は周りの外国人に怖気づいてなかなか話しかけに行けず、思ったことの半分も伝えられなくてもったいない時間を過ごしてしまったな、と今になって後悔しています。ジャンボリー中盤になって環境にも慣れてくると、交流会が行われたり、名刺、ワッペンを交換しながら日本に来た感想やアニメの話などを片言な英語で話して笑いあったりしました。片言な英語でもとても楽しく会話できましたが、やはりもっと英語が話せたらもっと色々な会話ができただのかな、と思っています。ジャンボリーの終わりが見えてくるにつれてジャンボリーそのものを楽しめるようになってきて、段々テンションが上がっていましたが、終わってしまうという事実にも悲しくもありました。ジャンボリーが終わらないでほしいという気持ちでいっぱいになり、帰ってきてから今この時まで、ジャンボリーをもう一度経験したいと思うほど今回の世界ジャンボリーは私にとって特別で、大切なものでした。

このジャンボリーで経験したこと、得たものを忘れずに、大切にしてください。これからスカウト活動に生かしていきたいと思います。ジャンボリーに参加できたこと、楽しくキャンプができたことに感謝を忘れずにしたいな、と思います。



208隊 向日葵班 清水裕里

私は今まで英語なんて使わない言語は日本語だけでいい等と思っていました。ですが交流やゴミの分別で外国人と関わっている中、その考えは変わりました。日本に住んでいるからといってその国のことだけ知るのではだめだと。私の目標である『世界に触れる』のとおり私は外の世界にふれ、そして興味をもつことができました。

ジャンボリーも終わり、これからは普通の生活に戻りました。

ですがこの夢のようなけいけんを忘れず、今後、頑張っていこうと思いました。



208隊 紅葉班 エリス・ロジャース

ジャンボリーでは、思っていた以上にたくさんのスカウトと出会い、喜びを感じる事が出来ました。

“Enjoy Jamboree” という隊でたてた目標をフルに充実することが出来たと思います。班やグループでは、同じ仕事に取り組むことで信頼と団結力がよりいっそう深まるのを感じると共に一緒に時間を過ごした仲間は忘れません。

私は今回のジャンボリーで恐らく最も得られたものは、世界を味わえた経験と父親との絆が改めて深まったことだと思っています。

今まで、そしてこれからもありがとうございます。



208隊 紅葉班 伊藤 楓

めちゃたのしかったです！思ったより交流もできてよかったです！
スカウトでジャンボリーに行くのは最後だったけどまた機会があれば行きたいです。
今回は楽しかったです！ありがとう！
ナミの仕事は朝早くで大変でした。でも途中の一日だけ他のチームの人が手伝ってくれてたすかりました！協力し合えて、たのしめてよかったです。



208隊 柊班 加藤夏樹

23WSJに行った。アリーナショーが一番楽しめました。
ゲストのアーティストと会場全体が一体となって、すごく盛り上がりました。
開会式と閉会式は変な感じで終わってしまったので残念でした。
広島ピース、平和祈念式てんのじゅんぴをしていました。しりょう館などにもいって
平和への思いを考えられました。
毎日ご飯でかとうしました。ゆうせいと一緒に残ったものを食べました。
今回の23WSJに参加して、いろんなことを学びました。Helloと話しかけたり、ワッ
ペンを交かんしたり、フードフェスではその国の食文化を知ることができました。
208 隊のメンバーと楽しく過ごせた12日間でした。



今回のジャンボリーは日本開催で、参加人数枠が多い事・移動の交通費や時間が少ない事など便利な事が多く、一生に一回のスカウトとしてのジャンボリーが偶然日本で開催された事がとても幸運でした。

大会では世界各国のスカウトとの交流を楽しむ事ができ、異文化・他宗教を知り、自分の英語力を試す事ができた事に大変満足しています。交流したスカウトの一部とは連絡先を交換し、今でも連絡を取り合っていて、10代で世界中に友達ができただ事は、日常のメールのやり取りで自分の英語力を試せたり、将来世界を旅した時に現地の情報を仕入れたり、今・将来の自分にとって有意義な事だと思えます。国際交流の面で成長する事ができた大会でした。

大人数のメンバーと長期間キャンプをして学ぶ事もありました。自分は水・排水・ゴミの担当だったので、快適なキャンプをおくるにはどのように工夫すれば良かったかという点です。今後の現隊のキャンプで試してみたいです。

仲間と一緒に楽しみ、騒ぎ、笑いながら過ごした期間は、自分のスカウト人生の中の1つのハイライトとなると思います。一生忘れない出来事となるでしょう。

スカウト活動の根本の1つである”感謝の心を持つ”ということ、大会の参加を熱心に勧めてくれ、後押ししてくれた両親に、今後何らかの形で返したいと思っています。多数の面で成長を感じることのできた期間でした。





23rd WORLD SCOUT JAMBOREE SCOUT MONDIAL YAMAGUCHI KIRARA BEACH
 第23回 世界スカウトジャンボリー
 2015年7月28日～8月8日 山口県山口市阿知須きらら浜





7/30 秋吉台にて



【 編集後記 】

ボーイスカウトの教育の基本は「ちかい」と「おきて」の実践を基盤として、ビバースカウトは「やくそく」と「きまり」を、カブスカウトは「やくそく」と「さだめ」の実践を基盤としています。

教育の方法としては、青少年が、知識、技能、心構えを身につけるために『行うことによって学ぶ』こととしています。

今回の世界ジャンボリーでは日本開催という機会にも恵まれて、大勢のスカウトが参加することができました。今回、残念ながら参加できなかったスカウト達も、今後の活動でも、より広い世界を体験するチャンスはまだ沢山あります。様々な人々や文化と触れ合うことで、幅広い視野を持った立派な大人に成長してくれることを願っています。

スカウトたちの今後の成長を楽しみに、保護者の皆さまには、今後とも団及び指導者へのご協力をいただけますよう、お願い致します。

